



年 組 番 名前

昔の道具

問題 昔の道具を知っているかな？

昔の道具の使い方の、せつめいと合っているものを線でつなごう。

昔の道具



道具の使い方

ふとんや
体を
あたためる

ふくの
シワを
のばす

小麦を
こむぎこ
小麦粉に
する

せんたく
物を
あらう

水をくむ

問題 今の道具、昔はどんな道具だったかな？

昔の道具の名前や、せつめいを書こう。

今の道具

せんぷうき



石油ファンヒーター



自動車



そうじき



テレビ



昔の道具



昔のくらしと道具


360度えいぞう



年 組 番 名前


問題 360度えいぞうを見て、昔の道具とくらしを知ろう。
えいぞうを見て、ワークシートの をうめよう。

1 ●道具の名前

あんどん 


●使われ方
 をねんりょうとした、火のあかり。あかりの近くでないと、本が読めないほどくらかった。

2 ●道具の名前

せんたくいた 


●使われ方
 に力を入れて、よごれをもみ出す。寒い冬は、つめたい水で手がかじかむ。家事の中でも一番 時間がかかる、とってもたいへんな仕事。

3 ●道具の名前

かまど・かま 

●使われ方
かまどで をもやして、ごはんをたく。
朝早く起きて、 をおこす。
こまめに火かげんを見ないといけないので、はなれられない。


4 ●道具の名前

和文タイプライター 

●はん売が始まった年
1915年(大正4年)

●使われ方
昔は文章を書くのは が当たり前で、大切な書^いのせい書に和文タイプライターが使われた。(学校でも、先生は手書きでプリントを作っていた。)しかくを持った人しか使えなかった。


●道具の名前

白ねつ電球 

●登場した年
1890年(明治23年)

●使われ方
光を放つフィラメントに が使われた。発明王エジソンの電球をさん考に作られた。電球ができて、夜でも家の中でいろいろなことができるようになった。


●道具の名前

電気せんたくき 

●はん売が始まった年
1930年(昭和5年)

●使われ方
 の力を使って、一度にたくさんの服をあらうことができる。ローラーでせんたくものをしぼる。せんたくがかんたんになり、くらしによゆうができた。


●道具の名前

自動しき電気がま 

●はん売が始まった年
1955年(昭和30年)

●使われ方
 ひとつでだれでもかんたんに、電気のでごはんがたける。ごはんをたいている間に、他のことができるようになった。

●道具の名前

日本語ワードプロセッサ 

●はん売が始まった年
1979年(昭和54年)

●使われ方
だれでも使うことができる道具。漢字がたくさんあり、ふくざつな日本語を「ひらがな漢字変換」する仕組みが入っていた。ひらがな漢字変換は、今の や も同じ仕組みを使っている。



日本の 1 号機の道具

問題

とうしばみらいかがくかん
東芝未来科学館の中で、1～3の写真の道具をさがそう。
道具を見て、今の道具とのちがいや、気づいたことを書こう。

1

●道具の名前

電気せんたくき



●はん売が始まった年
1930年（昭和5年）

●電気せんたくきの登場 をうめよう。

- 日本初の電気せんたくき。
- 電気せんたくきが登場する前は、
たらいと を使っていた。
- たくさんの家庭に広まったのは、
（昭和30年代）。 年後半

●道具を見て、気づいたことを書きましょう。

2

●道具の名前

電気れいぞうこ



●はん売が始まった年
1930年（昭和5年）

●電気れいぞうこの登場 をうめよう。

- 日本初の電気れいぞうこ。
- 電気れいぞうこが登場する前は、
 でひやす
れいぞうこだった。
- たくさんの家庭に広まったのは、
（昭和30年代）。 年後半

●道具を見て、気づいたことを書きましょう。

3

●道具の名前

カラーテレビ



●はん売が始まった年
1960年（昭和35年）

●カラーテレビの登場 をうめよう。

- 日本初のカラーテレビ。
- 東芝のテレビの研究は1928年にはじまり、1952年には
日本初のテレビ放送が登場した。白黒テレビの放送は、
1953年にはじまった。
- 1964年に行われた を
きっかけに、白黒テレビが広まった。
- カラーテレビは、1973年の札幌の冬季オリンピックを
きっかけに広まった。

●道具を見て、気づいたことを書きましょう。

4

とうしばみらいかがくかん
4 は東芝未来科学館の「1号機ものがたり」の中で、気になった道具を調べてみよう。

●道具の名前

●道具のスケッチ

●はん売が始まった年

 年

●道具を見て、気づいたことを書きましょう。



昔のくらしインタビュー

お家の人（できればおじいさん・おばあさん）に、子どものころのくらしをインタビューしよう。
今のくらしとのちがいを、教えてもらおう。

年 組 番 名前

インタビューした人	いっしょに住んでいた、家族のこうせい
何年前の話？	住んでいた場所や様子

くらしの様子 (台所・せんたく・お風呂・トイレ・テレビなど)	
-----------------------------------	--

子どものあそび (友だちと何して遊んだ？どこで遊んだ？)	
学校の様子 (たて物やび品・かわったじゆ業)	
その他 (世の中の様子・食べ物・服そう・町の様子など)	



かわってきたくらし (1)

年 組 番 名前

[今と昔の道具カード]の中からセットになる道具を1セットえらんで、下の表にはって、表をうめましょう。

	道具の写真	道具の名前	道具のせつ明	くらしのようす
現代 平成時代 (1989年～ 2019年) 令和 (2020年～)				
昔 昭和時代 (1926年～ 1989年)				
もっと昔 大正時代 または それ以前 (1912年～ 1926年)				



年 組 番 名前

かわってきたくらし (2)

〔今と昔の道具カード〕の中から、今の道具とセットになる昔の道具をさがそう。

今と昔の道具カード

キリトリ ✂

キリトリ ✂



ねんぴょう


年表を作ってみよう！～道具とくらしのうつりかわり～(1)

今まで学んだ[道具]と[くらしの様子]を下の年表にまとめましょう。表は、右はしが今で、左に行くにつれて年代が古くなります。[道具カード]と[くらしカード]は切り取って、下の表にはりましょう。

年 組 番 名前

年表：江戸時代～昭和時代

※昭和時代(1960年以降)はうらへ

年代	1860 江戸時代 (1603年～1867年)	1870 明治時代 (1868～1912年)	1880	1890	1900	1910	1920 大正時代 (1912～1926年)	1930	1940 昭和時代 (1926年～1989年)	1950
道具	<div data-bbox="501 677 698 1021" data-label="Text"> <p>かまど・かま</p>  <p>かまどで木をもやし て、ごはんをたく。 朝早く起きて、火を おこす。こまめに火 を見ていないと いけない。</p> </div>									
くらしの様子	<div data-bbox="557 1294 640 1765" data-label="Text"> <p>家書はなく家事にとても時間がかかる。</p> </div>									



ねんぴょう
年表を作ってみよう！～道具とくらしのうつりかわり～(2)

年 組 番 名前

年表：昭和～平成～令和

年代	1960 昭和時代(1926年～1989年) (おじいさん・おばあさんが子どものころ)	1970	1980	1990 平成時代(1989～2019年) (お父さん・お母さんが子どものころ)	2000	2010	2020 令和(2019年～)
道具							
くらしの様子							



ねんぴょう

年表を作ってみよう！～道具とくらしのうつりかわり～(3)

道具カード

ここにある道具カード以外にも、調べたことを年表に書きこもう！

<p>LED (エル・イー・ディー)</p>  <p>LEDチップが光る。白熱電球より光が強く、電気代が安く、長持ちする。明るさや光の色をかえられる。</p>	<p>すいはんき</p>  <p>だれでもかんたんに、おいしいごはんがたける。</p>	<p>せん風き</p>  <p>羽根を回転させて風をおくり、すずくなる。夏にかかせない家電せい品。タイマーや首ふりで、さらにべんに。</p>	<p>ガラバゴスけいたいフィーチャーフォン</p>  <p>電話だけでなく、カメラ・インターネット・テレビを見るなどのきのうを持つ。持ち運べるサイズになり広まった。</p>	<p>パソコン</p>  <p>計算、ゲーム、インターネットで調べ物をしたり、メールを送ったりと、使う人や目によって色々な事ができる。</p>	<p>かまど・かま</p>  <p>かまどで木をもやし、ごはんをたく。朝早く起きて、火をおこす。こまめに火を見ていないといけない。</p>
<p>国さん1号きの電話</p>  <p>送話きと受話きがついた電話き。本体にある送話きに向かって話し、にぎり手形の受話きを耳にあてると相手の声が聞こえる仕組み。</p>	<p>全自動せんたくき (せんたくかんそうき)</p>  <p>あらい・すすぎ・だっ水まで自動でする。かんそうきのうがついているせんたくきもある。</p>	<p>せんたく板・たらい</p>  <p>たらいに水を入れ、一まいずつ石けんをつけて、せんたく板でこすりながらあらう。時間がかかり、力がひつよう。</p>	<p>あんどん</p>  <p>油をねんりょうとした、火のあかり。あかりの近くでないと、本が読めないほどの明るさしかなかった。</p>	<p>うちわ</p>  <p>手であおいで風をおこす。すすむほかに、火に風をおくると、りょう理をさます使われかたもする。</p>	<p>日本語ワードプロセッサ</p>  <p>ふくざつな漢字をへんかんことができ、だれでも書けるようになることのできるようになった。</p>
<p>エアコン</p>  <p>※写真はスプリット型 ルームエアコン(1961年) 部屋をひやししたり、あたためたり、温度やしつ度といった空気を調整してくれる。自動ですこしやすしい空調してくれる。</p>	<p>スマートフォン</p>  <p>電話だけでなくパソコンのきのうも持っている。世界中の人と、いつでもコミュニケーションがとれる。</p>	<p>白ねつ電球</p>  <p>さいしよの白ねつ電球は、光る部分のフィラメントに、竹が使われた。フィラメントがやき切れるので、じゅ命が短い。</p>	<p>電気せんたくき</p>  <p>日本はつこの電気せんたくき。すすぎの時は自分で水を入れかえる。だっ水は上についたローラーにはさんで行う。</p>	<p>自動式電気がま</p>  <p>スイッチひとつで、電気のでごはんがたける。ごはんがたけると自動でスイッチが切れる。内がまの外にも水を入れる。</p>	<p>ダイヤル式電話き(黒電話)</p>  <p>ダイヤルが回転式の電話き。一家に一台、電話きが広まった。今でも電話のマークとして使われている。</p>

くらしカード

<p>電化せい品が生まれ始める。せんたくきやテレビを持つ家がでてきた。</p>	<p>家庭で電気が使われるようになる。</p>	<p>自動で動いてくれる家電が使われるようになる。</p>	<p>水道やガスが、家庭で使われ始める。</p>	<p>今の家電とくらべて、大きかった。</p>
<p>水は井戸からくみあげた。</p>	<p>パソコンやスマートフォンでインターネットを使う。</p>	<p>家電はなく、家事にとても時間がかかる。</p>	<p>家電せい品を使うのが当たり前になる。</p>	<p>スマートフォンやゲームきなど、子どもも電化せい品を使うのが当たり前。</p>

キリトリ ✂

キリトリ ✂